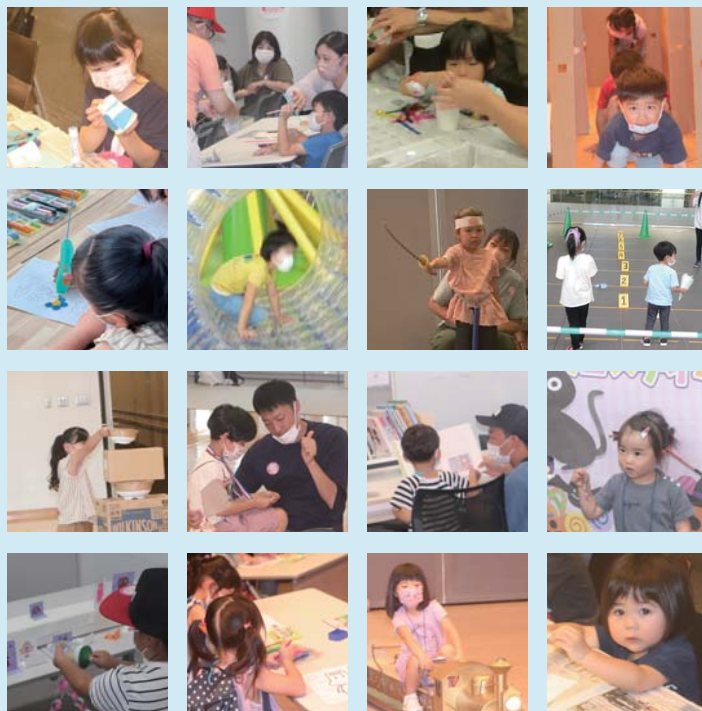


青少年いわて

2022年11月発行 No.88



今年のフェスティバルは、新型コロナウイルス感染防止対策として、一部のプログラムを完全予約制とし、開催時間を短縮して開催しました。参加者の方々には体調チェック、マスク着用をお願いしました。

ボランティアの皆さんは、企画会議の参加や各コーナーの準備など、何度もアイーナに足を運び、工夫を凝らしたゲームや工作の準備をして、子ども達の笑顔を待っていました。

今回、初の試みとして、参加した子ども達にスタンプ台紙を配布し、会場を巡ってスタンプを集める企画を開催しました。参加した子ども達は様々なコーナーで体験をしながらスタンプを集め、ボランティア手作りのおもちゃなど、素敵な景品をもらいました。

完全予約制のつくろうコーナーやナゾトキ、遊びリ

ンピックでは、並ぶことなくスムーズに参加し、担当のボランティアも丁寧に落ち着いて対応することができました。

また、予約なしでも参加することができるコーナーでは多くの子ども達が様々な体験をしました。例年大人気のミニ SL 乗車や段ボール迷路に加え今年はエアパークが初登場し、子ども達は夢中で遊んでいました。

ボランティアが担当した遊ぼうコーナーでは、ストラックアウトやポッチャ、ボウリング、空気砲など何か月もかけて準備し、自分たちでルールも考えた遊びに、子ども達が高得点を狙って挑戦していました。

来年は記念すべき10回目のフェスティバル。コロナが落ち着き、通常通りの開催ができればと思っています。

トピック

- ・いわて親子フェスティバル in アイーナ
- ・通常総会 - 県民会議表彰
- ・こどもの心をつかむわくわくワークショップ
- ・青少年育成セミナー(研修会)
- ・青少年を非行・被害から守る県民大会

- ・地域課題解決セミナー in たきざわ
- ・わたしの主張岩手県大会
- ・奥州市子ども会・世話人研修会

いわて親子フェスティバル 2022.10.2 アイーナ



受付待ち中



景品交換所
景品
どれにしようかな〜



3Dで浮かび上がった
不思議な盛り絵体験



あつまれ！
スーパーヒーローズ

スーパーヒーローズ大集合！！



森の工作館

木の実や枝でオリジナルの
写真たてづくり！！



くぼたまさと工作ショウ

みんなの視線の先には
愉快なわくわくさんのショウ！！



遊びリンピック



手作りポッチャで対決！
的に近いのはどっちだ！！

ポッチャで対決！！
勝っても負けても楽しいわ月



たくさん当てよう！
みんなでモルック

初めてのモルック！！
上手くできたかな？



みんなで作る
スポンジアート



わくわく！ドキドキ！
まんぷく大作戦！！

パクパクまんぷく
動物さんにエサをあげよう！！



おぼけを倒そう！
ペットボトル空気砲！

おぼけをよ〜く狙って、
空気砲発射！！



ボードゲーム

盤上で繰り広げられた
勝負のはどっちだ！！



アイーナ
お絵がき大会

盛り絵が終わったら
みんなでハイ、チーズ！



岩手のマスコット、おぼっち！
テレビのマスコット、ミットくん！



くぼたまさ

わくわく月
いったい何ができた？

工作タイム



る
後

ふわふわエアパーク



ふわふわポヨンポヨン
まるで宇宙にいるみたい

スイスイびゅーん！ つくってあそぼう！ かみひこうき！



ほくの紙ひこうき
どこまでも飛べ！！

もう1つの物語 ～ももたろう～謎解き編



ナゾを解き明かして
オニを退治しよう！

ック①



親子でつなげ！！

遊びリンピック②



親子で魅せろ！！

遊びリンピック③



めざせ金メダル！！

オリジナルスライムを つくろう！



入れて混ぜて完成！
不思議なスライム

る ト



スポンジでポンポン！！
可愛い絵ができたよ☆

いろいろなボールでストライク！ ～ペットボトルボウリング～



ピンを全てたおして
ストライクを狙おう！！

おしえて！くもくん プライベートゾーンってなあに？



くもくんにおしえてもらう！！
大切なプライベートゾーン

めざせオオタニサン！ ストラックアウト



ボールをのけて的に入る！！
私は未来のメジャーリーガー！！

であそぼう！！



られる頭脳戦！！
どどど？

ハロウィンなりきりコーナー



ボウシやマントで大変身！！
ハロウィンの主役になろう！

段ボール迷路2022



ここは段ボールジャングル！
みんなで出口を探そう！

ミニSL



出発進行！
ほくが運転士さんで弟は車掌さん！

と工作教室



るのかな？

月まで飛ばせ！ 紙コップロケット



てづくりロケット！
宇宙まで飛んでいけ！

ながめて楽しい！ ～カラフル万華鏡～



セロファンを重ねたらできた！！
自分だけのキラキラな万華鏡！

毛糸でつくろう！ ボンボンキーホルダー



好きな毛糸を巻いて巻いて♪
可愛いキーホルダーの完成！

令和4年度通常総会 - 令和3年度県民会議表彰

今年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から、規模を縮小し、6月14日(火)、アイーナで岩手県青少年育成県民会議の通常総会を開催いたしました。

例年、通常総会の席上で行われていた岩手県青少年育成県民会議表彰式についても、今回は誌面での紹介のみ行いました。青少年育成指導者2名と併せて、昨年度は結成55年目にあたり、5年ごとの周年表彰として県民会議功労者3団体、個人8名に功労者感謝状を、後日、謹呈いたしました。

長年にわたるご努力に敬意を表し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後、より一層、ご健勝で後進の指導にご尽力されますよう、祈念いたします。



挨拶をする菅野県民会議会長

期日：令和4年6月14日(火)

会場：アイーナ 804A 会議室

表彰者一覧

区分		氏名(所属)	市町村
個人	青少年育成指導者	佐々木 盛夫(日本ボーイスカウト岩手連盟)	盛岡市
個人	青少年育成指導者	古館 昌三(宮古市少年センター)	宮古市

区分		氏名	所属
功労者感謝状	県民会議役職員	澤野 桂子	(一社)岩手県私学協会副会長、岩手県エイズ対策推進協議会委員
		平井 ふみ子	ガールスカウト岩手県連盟前連盟長、顧問 前岩手県青少年問題協議会会長
		小菊米 淳一	㈱ジョイス元代表取締役社長、岩手県万引防止対策協議会前会長
		工藤 重信	税理士
		三浦 保治	岩手県子ども会育成会連合会会長
	県民会議賛助会員	富士モーターサービス	いわて希望塾参加者送迎
		シニアものづくり隊	いわて親子フェスティバル協力団体
	県民会議貢献者	シェアピース	〃
		馬場 久美子	登録ボランティア
		足利 結花	〃
		佐藤 玲香	〃

こどもの心をつかむわくわくワークショップ

くぼたまさとによるおとなのための研修会/こどもの心をひらくアイスブレイク講座 with コロナ

5月8日と6月1日に、子どもとの活動に興味のある方を対象に全2回のワークショップを開催しました。参加者は10代から60代以上と幅広く、新型コロナウイルス感染防止対策を行った上での開催となりました。

第1回目は、テレビ番組「つくってあそぼ」でわくわくさんを演じた、くぼたまさとさんによる新聞紙を使った工作で、材料を切る時のポイントや、子どもに教える時の注意点など、楽しいトークを交えながらロケットや風車などたくさんの種類の工作を教えていただきました。

第2回目は、盛岡大学短期大学部の及川未希生先生にコロナ禍でもできるアイスブレイキングを教えてもらいました。大人も楽しんでもできる内容で、初対面の参加者もすぐに打ち解けることができました。

参加者からは、どちらの講座もすぐに実践できるもので、楽しく学ぶことができたという感想が寄せられました。

第1回

期日：令和4年5月8日(日)

会場：アイーナ 803 会議室

講師：くぼたまさと 氏

第2回

期日：令和4年6月1日(水)

会場：アイーナ 小田島組☆ほ〜る

講師：及川 未希生 氏

(盛岡大学短期大学部助教)



研修会



研修会



研修会



アイスブレイク講座



アイスブレイク講座

青少年育成セミナー（研修会）

フローな人生を送るために - 「with コロナ」の生き方

青少年健全育成関係者や保護者を対象に、『フローな人生を送るために - 「with コロナ」の生き方』と題し、東洋大学名誉教授の八巻節夫先生をお招きして、青少年育成セミナーを開催しました。

ウイズ・コロナ社会では、物を消費することによる満足よりも、心の豊かさ・満足のための消費を心がけることが大切ということ。「フロー」とは、一つの活動に深く没入して他の何物も問題とならなくなる状態で、フローな生き方は、人生が生きることそれ自体、楽しい方向に向かうので幸福である。

また、これからは自分だけの快適さや幸福を求めることから脱却して、自分も他者も幸福になっていき、それが縁になって共同体が広がっていく「支援社会」になる必要がある。

このような内容で御講演をいただき、参加者からは、「長引くコロナ禍の中で、新たな視点が備わった」等の感想をいただきました。



講座の様子①

期日：令和4年7月5日（火）
会場：アイーナ 804A 会議室
講師：八巻 節夫 氏
(東洋大学名誉教授)



講座の様子②

青少年を非行・被害から守る県民大会

“社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

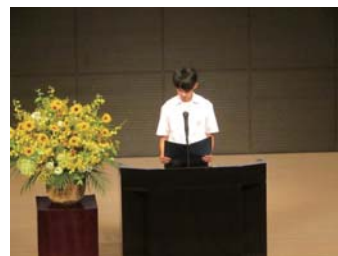
7月13日（水）「令和4年度 青少年を非行・被害から守る県民大会」をいわて県民情報交流センター（アイーナ）7階小田島組☆ほ〜るにおいて開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、参集者を最大200名に限定し、希望者への資料送付・オンライン動画配信による開催となりました。

意見発表では、昨年度「わたしの主張岩手県大会」優秀賞の留場優那（とめば ゆうな）さんは、「光」と題し発表、また作文発表では“社会を明るくする運動”作文コンテスト岩手県推進委員会委員長賞の玉井瞭平（たまい りょうへい）さんは、「地域とのつながりを大切に」と題し発表しました。

講演では、岩手大学人文社会科学部教授の奥野雅子（おくの まさこ）氏から「コロナ禍における青少年との向き合い方について」と題し、コロナ禍における青少年とのコミュニケーションや向き合い方について、自身の専門である臨床心理学や家族心理学の観点からお話をいただきました。

大会の最後に、青少年の非行・被害防止のための決議提案があり、参加者からの拍手をもって採択され、閉会しました。

期日：令和4年7月13日（水）
会場：アイーナ 小田島組☆ほ〜る



作文発表



主張発表



講演



講演



決議提案

地域課題解決セミナー in たきざわ

発達障がいとその周辺問題の理解と支援～発達が気になる子供・医療的ケア児・不登校児～

子どもたちの支援に関わる方々などに実践的な学びの機会を提供することを目的に、ビッグルーフ滝沢を会場に、2回連続の講座として開催しました。

第1回（7月23日（土））は、講演、現状報告、トークセッションを行い、発達障がい疑われる「気になる子ども」の行動特徴に注目し、特性を活かしたこれからの支援や不登校などの問題を抱える家族への理解と支援の在り方を学びました。医療的ケア児を含む包括的な地域療育、ケア体制の整備、学校教育の役割等の紹介があり、生涯において切れ目のない支援体制が求められることが課題としてあり、トークセッションでも熱心に討議されていました。

第2回（7月30日（土））は、発達に特性のある子どもたちに効果的といわれる支援プログラムの「ペアレントトレーニング」の考え方やポイントを学びました。子どもの行動に注目することにより、どこが困っているかを知ることが大切であり、子どもの行動を分類し、具体的な行動をほめることやシンプルに行ってほしい行動を伝えるなど、具体的に実生活でも役立つ内容が多くありました。

期日：令和4年7月23日（土）・30日（土）

会場：ビッグルーフたきざわ 大ホール

第1回 7月23日（土）

講師：嶋野 重行 氏
（盛岡大学短期大学部教授）

現状報告：

関 ミチル 氏
（こどものデイサービスなないろ所長）

栃内 恵子 氏
（居場所支援事業所ソルド所長）

第2回 7月30日（土）

講師：嶋野 重行 氏
（盛岡大学短期大学部教授）

塩谷 彩花 氏
（盛岡大学短期大学部准教授）

藤村 ゆみ子 氏
（児童発達支援事業所とくたん所長）



第1回目基調講演



第1回目現状報告



第2回目ペアレントトレーニング



第2回目基調講演

わたしの主張岩手県大会

「第24回わたしの主張岩手県大会」が9月14日（水）にいわて県民情報交流センター（アイーナ）7階小田島組☆ほ～るにて開催されました。

今大会は、新型コロナウイルス感染症防止のため無聴衆開催でしたが、各地区大会から選出された代表者17名が未来に向けての夢や希望、日常生活の中で感じていることや考えたことなど、それぞれの思いを発表しました。

「色を纏うように」という題目で発表した田野畑村立田野畑中学校2年の三上結菜さんが大会の最優秀賞に選ばれ、優秀賞には2名、優良賞には3名の生徒が選ばれました。

また、本大会の最優秀賞受賞者の三上結菜さんについては、北海道・東北ブロック審査会に「少年の主張全国大会」の候補者として、国立青少年教育振興機構に推薦していました。残念ながら代表者に選出されませんでしたが、三上さんには同機構理事長から「努力賞」が贈られます。

また、今年度の全国大会は、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、開催方法をWEB開催に変更して実施されます。

期日：令和4年9月14日（水）

会場：アイーナ 小田島組☆ほ～る



主張発表の様子



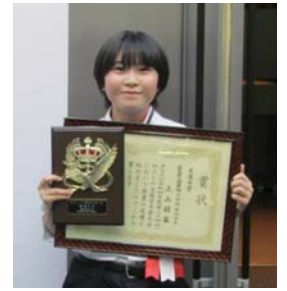
主張発表の様子



県大会に出場した生徒の皆さん

県大会入賞者一覧

最優秀賞	田野畑村立田野畑中学校 2年	三上 結菜	『色を纏うように』
優秀賞	盛岡市立仙北中学校 3年	三浦 萌	『今、ここから』
//	一関市立東山中学校 3年	菅原 アンダーソン	『自分らしさ』
優良賞	盛岡市立北松園中学校 3年	小林 理乃	『身近に潜む「思いこみ」』
//	奥州市立胆沢中学校 3年	伊藤 千雛	『目をそらさずに』
//	大船渡市立第一中学校 3年	小西 真央	『さんたり学び舎』



最優秀賞を受賞した三上さん

わたしの主張岩手県大会最優秀主張

『色を纏うように』 田野畑村立田野畑中学校 2年 三上 結菜 さん



「いらつしやいませ——!!」

椅子に座った私に、美容師さんはピンクのタオルを掛けた。特に何とも思わなかったが、私の声を聞いた瞬間、驚いた様子で言った。「ごめんねえ、男の子だったんだ。男の子ならピンクの色は嫌だよね」

……何で？ 何で男の子ならピンクの色は嫌なんだ？

何で【男の子】は、ピンクを身に着けてはいけないのだろう。ピンクが好きなのは男の子だって当たり前にいるだろう。

何で色で【男】【女】をわけが必要があるんだ？？全員同じ色のタオルじゃ、何がダメなんだ？？

たった一枚のタオルの出来事に、私はずっと悩まされていた。

「(笑笑) お前、男のくせに、こういうキャラクター好きなのかよ (笑笑)」

思い返してみると、私たちも知らず知らずのうちに、こんな風に【男】【女】の括りで物事を判断してないだろうか。

好きなものが好きで、何が悪いんだ。

モヤモヤは、募るばかりだった。

そんな時、「アンコンシャスバイアス」という言葉に出会った。アンコンシャスバイアスには、無意識の偏見・無意識の思い込みという意味がある。無意識の偏見・無意識の思い込みが起る根底には、先入観や固定概念、「この人が言うのであれば、間違いない」と無意識に信じる心理、人数が多い方が正しいと思う集団心理が関係している。

美容師さんの行動をふり返ると、美容師さんに悪意がないことは、わかる。きっと【無意識の先入観】が起り、あ

のような判断をしたのだろう。そう言えば、私も

「えっ！？トラックの運転手は、男の人の仕事じゃないの！？」

「幼稚園の先生になれるのは、女の人だけでしょ？」

と、小さい頃は思っていた。そうか！私たち人間は、無意識のうちに偏見を持ちやすい生き物なんだ！

だったら、「無意識の偏見」に打ち勝てる価値観を、私たちは持たなければ！

今、日本は多種多様な生き方を認め合おうという動きがある。だが、ふとした時に、自分の生き方の基準や価値観で【らしさ】を決めつけてしまう部分もあると思う。美容師さんのように、声が低いと【男の子】、声が高いと【女の子】というように判断する時は、皆さんにもないだろうか。

何気なく言った一言で、

——どうせ、わかってくれない——

と、心を傷付けているかもしれない。

私たちは、心を見せ合って生活することはできない。だが、ちょっとした認め合いで

——どうせ、わかってくれない——

と、心を痛める人を救うことができるのではないだろうか。

もっと広く世の中を見てもいいのではないだろうか。もっと自由に人を見てもいいのではないだろうか。

私には強く望むことがあります。それは、それぞれの個性を認め合い、大切にできる、多種多様な価値観が広がっていくことです。

様々な色を自由に纏うように。

私たち一人一人の生き方も、色彩豊かなものに……

奥州市子ども会育成・世話人研修会

奥州市子ども会育成連合会、奥州市青少年育成市民会議、子どもの未来を育てる「群」の会との共催により実施。

子ども自身の手による自発的な活動を広げることを目的に、子ども会活動の育成のための指導者を養成する研修会を6月19日（日）、奥州市文化会館 Z ホールを会場に開催しました。

東北桜屋企画の高橋優さん、JUMP 元会長の菅原咲さんによるゲームレクリエーション演習では、子どもたちにとって目標とする憧れの先輩リーダーの巧みで軽快なスキルに触れられ、今後の取組に刺激を与えるとともにさらなる成長を促す機会となりました。



創作演習

創作演習では、テレビ番組「つくってあそぼ」のわくわくさんでおなじみのくぼたまさとさんによる紙コップや紙皿を使い輪投げやロケット工作など、たのしいトークを交えて作り方が紹介されました。「一緒に工作出来て楽しかった」、「身近な素材の使い方が勉強になった」との感想が寄せられ、親子・指導者と楽しい時間を過ごしました。



レクリエーション演習

期日：令和4年6月19日（日）

会場：奥州市文化会館 Z ホール

講師：くぼたまさと 氏

正会員・協賛企業募集

県民会議では新規会員及び協賛企業を募集しています。次世代を担う青少年の健全な育成を共に目指しませんか。

1. 会 員

会員には、県内各地で開催するイベントやシンポジウム等にご案内するほか、青少年に関する各種資料をお送りします。

2. 協賛企業

県民会議HPバナー広告広報紙「青少年いわて」への広告、県民会議封筒への広告を有償で掲載させていただきます。

3. 会 費



個人会員	正会員	3 千円 / 年
	賛助会員	12 千円 / 一口
団体（法人）会員	正会員	6 千円 / 年
	賛助会員	25 千円 / 一口

4. その他

お問合せ・お申込みについては、県民会議（019-681-9077）までご連絡ください。



青少年育成講師派遣事業

地域で活動する団体・グループが行う、青少年の育成に関わる研修会、講習会、会合等に講師を派遣するとともに、研修会等のプログラム案を作成・提案します。

対象団体

青少年育成市町村民会議、青少年育成団体、青少年団体・グループ、PTA その他の団体



支援内容

- 支援対象団体が、研修会等の開催にあたって、講師の派遣を求める場合、県民会議が保有する講師人材リストに登録の講師から、研修会等のテーマに即した講師を派遣します。
- 団体が研修会等の開催にあたって、プログラム案等の提案の求めがある場合、県民会議は研修会等の目的に沿って企画及び講師等の提案を行います。

派遣期間

派遣の要請に応じるのは、**2023年1月末日**までに申請があったものです。

そ の 他

申請方法等、詳細についてはホームページでご確認ください。

情報発信中♪



@yacaiina



@ya_center



@vzi4606t

センター HP : <https://www.aiina.jp/site/seishounen/>

県民会議 HP : <http://www.ipayd.server-shared.com/>

青少年なやみ相談室

電話：019-606-1722

電話受付時間

9:00 ～ 16:00（アイーナ休館日を除く毎日）

9:00 ～ 20:00（月曜日・木曜日）

メール：nayami@aiina.jp

面接：事前の予約が必要です

どうしていいかわからない。
困っているとき、苦しいとき、不安なとき。
思い切って電話してみませんか？
相談は無料です。秘密は固く守ります。

詳細は
センターのHPで
ご確認ください

